

米主要3株価指数が年初来安値を更新

シニア・ストラテジスト 石黒英之



ポイント① 米主要3株価指数が安値更新

5月9日の米国株市場では、主要3株価指数が揃って年初来安値を更新しました。中国の景気減速や、米金融引き締め強化などへの懸念が、投資家のリスク回避の動きにつながったとみられます。

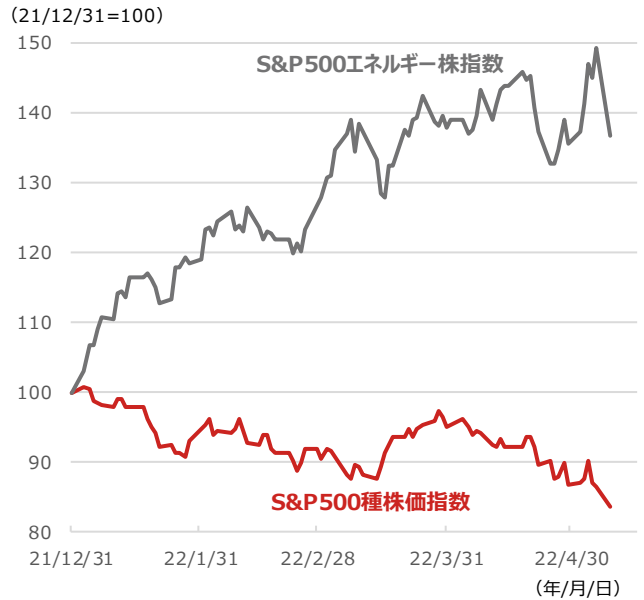
実際、5月9日の米国株市場では、資源高を背景に年初から大きく上昇してきたS&P500エネルギー株指数が前営業日比8%超下落しており、投資家のリスクオフ姿勢が強まっていることを表しています。S&P500種株価指数は下値模索の展開が続く可能性があります（右上図）。

ポイント② 中国景気と米金利動向が焦点

米国株の先行きを見る上では、中国景気と米長期金利の動向が焦点となります。中国の4月の貿易統計は、輸入額が前年同月比で3月から横ばいとなりましたが、価格が大きく上昇している原油を除くと4月は同7%減と、3月の同3%減からマイナス幅が拡大しました。中国が「ゼロコロナ政策」を継続していることで、中国経済の減速が世界経済全体に悪影響を及ぼすことへの警戒が市場全体に広がっています。

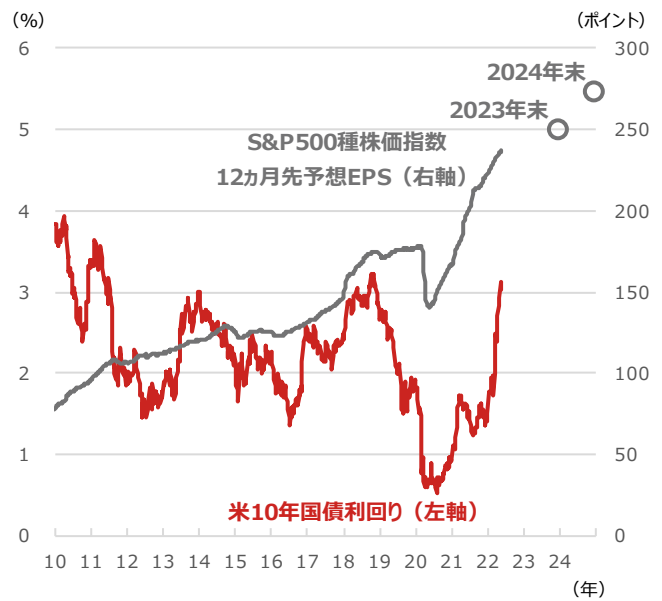
また、米長期金利の先高観も米国株の重しとなっています。「株価 = PER（株価収益率）× EPS（1株当たり利益）」ですが、長期金利の上昇は適正PERの低下を通じ、株価の下押し要因となります。もちろん、EPSが力強く伸びれば金利上昇の負の影響を相殺できます。現時点では、米長期金利上昇下でもEPSの拡大は続く見込み（右下図）です。ただ、同金利の一段の上昇や中国の景気減速が長期化する可能性もあり、米国株の不安定な動きは続きそうです。

S&P500種株価指数と同エネルギー株指数



期間：2021年12月31日～2022年5月9日、日次
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

米10年国債利回りとS&P500種株価指数の予想EPS



期間：2010年1月1日～2022年5月9日、週次
・予想EPSの実線は12か月先予想EPS
・○印は2023年末、2024年末時点の予想EPS（Bloomberg予想、2022年5月9日時点）
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。